

## 製品化・実用化等の状況（平成 22 年度実施）

調査対象：平成 17 年度～平成 21 年度に終了した事業の内、回答のあった 75 事業を対象

調査時期：平成 22 年 10 月

<製品化・実用化の状況> ※複数回答あり

出荷の有無を問わず製品化されているものは 23 件（30.3%）となり、固有の製品化以外に「既往の製品に要素技術として反映」しているものも 11 件（14.5%）みられる。また、32 件（42.1%）は「引き続き技術開発中」となっている。

	件数	割合
1. 既に製品化・実用化し、出荷している	13 件	17.1%
2. 既に製品化・実用化しているが、出荷実績はない	10 件	13.2%
3. 販売・量産化に向け生産体制を整えた（または整備中）	11 件	14.5%
4. 具体的な製品化・実用化に向け、試作品を作成した（または作成中）	21 件	27.6%
5. 製品化・実用化に向け引き続き技術開発中	32 件	42.1%
6. 既往の製品に要素技術として開発成果を反映（機能拡充や製品改良に貢献）	11 件	14.5%
7. 製品化・実用化することを取りやめた	7 件	9.2%
8. その他	12 件	15.8%

<論文掲載・特許取得等の状況>

論文掲載については、各応募提案者とも積極的に行われており、一つの提案で数十件の論文を発表したものもみられる。特許については、申請中のものが 27 提案、取得済みのものが 6 提案となる。

項目		件数／事業数
論文掲載		539 件／58 事業
新聞・雑誌・各種メディアへの掲載		203 件／39 事業
特許取得	申請中	53 件／22 事業
	取得済	8 件／5 事業